

2026 年奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会 第 1 回実行委員会 会議録（要約）

開催日時：2025 年 12 月 12 日 17:44～

開催場所：役場 4F 委員会室

議長：柳谷 実行委員長

出席者：

- ・ 役員・事務局・町関係：柳谷実行委員長、町長、水産観光課長（保島）、水産観光課、町民生活課 平瀬係長
- ・ 関係機関：警察 森下課長、警察 伊地知氏、海上保安 中田氏、林隊長
- ・ 委員・その他出席者：川井、青山、米田、稲村、宮原、山畑、杉岡、畑、泰江、武原、静、合田、栄、吉川、川畑、満、山田、武宮（※敬称略）
- ・ 各種団体：古仁屋青年団、瀬戸内漁協、建設業協会

1. 2026 年大会 実施要項について

- ・ 開催日：2026 年 7 月 4 日（土）、5 日（日）
- ・ SUP 部門の変更
 - ・ 男女別部門を新設する。
 - ・ 伴走船の安全確保のため、定数を 50 艇から 40 艇へ削減し、減った 10 艇分をシーカヤックハーフ部門へ割り当てる。
- ・ カヤック（艇）の確保と運搬
 - ・ エントリー時に「艇の確保」を必須とする。
 - ・ 艇の運搬時における破損は**「選手の自己責任」**であることを明確にし、運搬時は選手の協力・立ち会いを求める。（※申込時の WEB フォームで同意チェックを必須にする方向で調整）
- ・ コースの変更（安全対策）
 - ・ スタート直後（満潮→干潮）の嘉鉄からヤドリ方面への早い潮流による危険を考慮し、**「嘉鉄抜港」**のコースとする。
 - ・ コース上のブイについて、流される事案を防ぐため、設置位置の決定・設置作業・最終確認の担当者を統一し、重りの見直しや直前の確認を実施する。
- ・ ボランティアの公募
 - ・ 協力員不足解消のため、町外の一般向けに公募を実施（20 歳以上対象、T シャツ・昼食・保険加入あり）。
 - ・ 中高生・体育協会・自衛隊へは、従来通り直接協力依頼を行う。
 - ・ 駐車場について：選手が会場近くに駐車できるよう、ボランティ

ア用と選手用の駐車場を分ける方向で調整する。

- ・ 自衛隊の入浴テント：男女別での設置を依頼する。

2. 委員の脱退について【承認】

- ・ 一般社団法人瀬戸内ラジオ放送
 - ・ 実況解説を担当していたが、現在ラジオ放送を行っていないため脱退の申し出があり、承認された。

3. 大会エグゼクティブプロデューサーの任命について【承認】

- ・ 緑 健児 氏（瀬戸内町地域創生プロモーター）を任命。
 - ・ 物価高や人件費高騰による運営費増加への対策として、主に県外企業を訪問し、協賛金の獲得に向けて活動していただく。

4. その他・懸案事項について

① 参加料の見直し【承認・2027 年大会より適用】

将来的な大会継続に向け、2026 年大会で事前告知を行い、2027 年大会から以下の通り参加料を改定する。

- ・ 大人：10,000 円 → 15,000 円
- ・ 高校生以下：5,000 円 → 10,000 円

② 大会会場での物品販売（テナント）について

きゅら島交流館周辺を歩行者天国（一部）とし、物品販売を実施して会場を盛り上げる。大会記念グッズも販売し、収益を運営費に充てる。

- ・ 出店料：町内業者 5,000 円 / 町外業者 10,000 円
- ・ 規模：1 日最大 10 店舗（テント 8、キッチンカー 2）を先着順で募集。
- ・ 課題と対応：
 - ・ 「夜祭の露店（商工会青年部主催）とバッティングするのではないか」との懸念が出たため、出店者の負担にならないよう、今後事務局と商工会で調整を行う。
 - ・ 昼間の販売向けに、夜祭とは被らない特産品や小物などの業者にも呼びかけを行う。

③ 安全対策について

- ・ 警察署より、後夜祭ステージ等の安全対策を引き続き徹底するよう要望があり、全行程において安全第一で運営することを確認した。